

【実況・解析結果・考察】

勢力の強い台風は沖縄地方を横断中です。東海沖には熱帯低気圧があつて西に進んでいます。

日本の東海上には高気圧があつて日本付近は高気圧の淵に位置していて、日本付近には暖かい湿った空気が流れ込みやすくなっています。

500hpa 面解析図をみると5,880m の等高度線の領域が本州上に広がってきています。

850hpa 面の湿数は10°C以下で乾燥空気の流れ込みは確認できませんが、気象衛星画像から本州付近から日本海にかけては上空の高気圧が強まったことに対応して広く晴天域に覆われるようになってきました。

本州付近は負渦度領域に覆われています。

当初ダクト発生しにくいと予想していましたが、移動運用を試みたところ7～0エリア間オープンを確認しました。長岡市越路原において秋田県の地デジテレビを鮮明に受信でき、QRP 運用による交信も確認できました。上空の高気圧の勢力が強まったことによりダクトが形成されたと判断します。

16:58 JO7IZC(秋田県にかほ市)-JG0TEV/0(新潟県長岡市) RS59-59

17:33 JO7IZD(秋田県にかほ市)-JG0TEV/0(新潟県長岡市) RS51-59

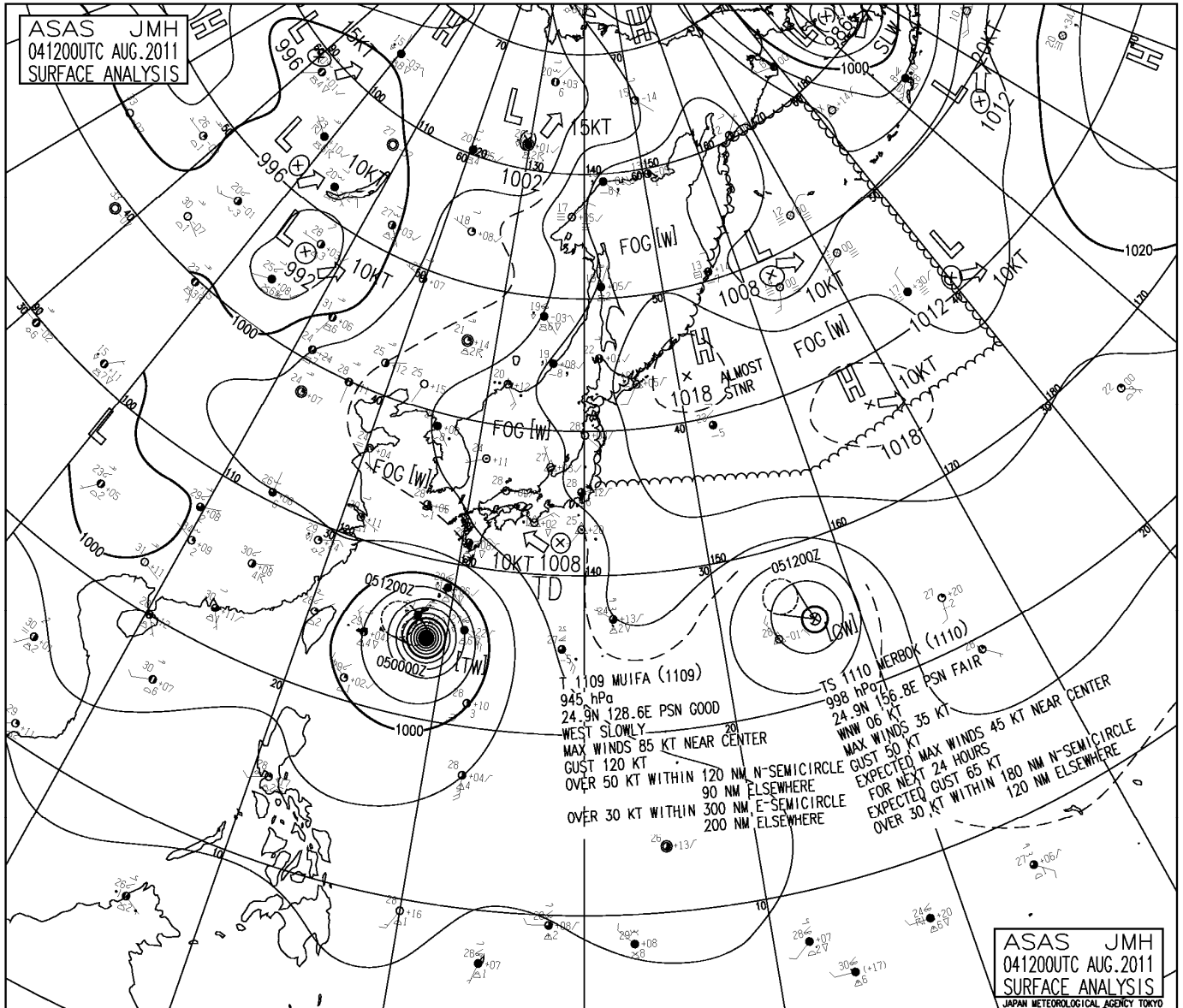
※JO7IZD ハンディVX5, ロッドアンテナ RH-770, 300mW 運用

17:37 JO7IZC(秋田県にかほ市)-JG0TEV/0(新潟県長岡市) RS52-55

※JG0TEV ハンディC501, ロッドアンテナ RH-770, 280mW 運用

※JO7IZC 八木 1W 運用

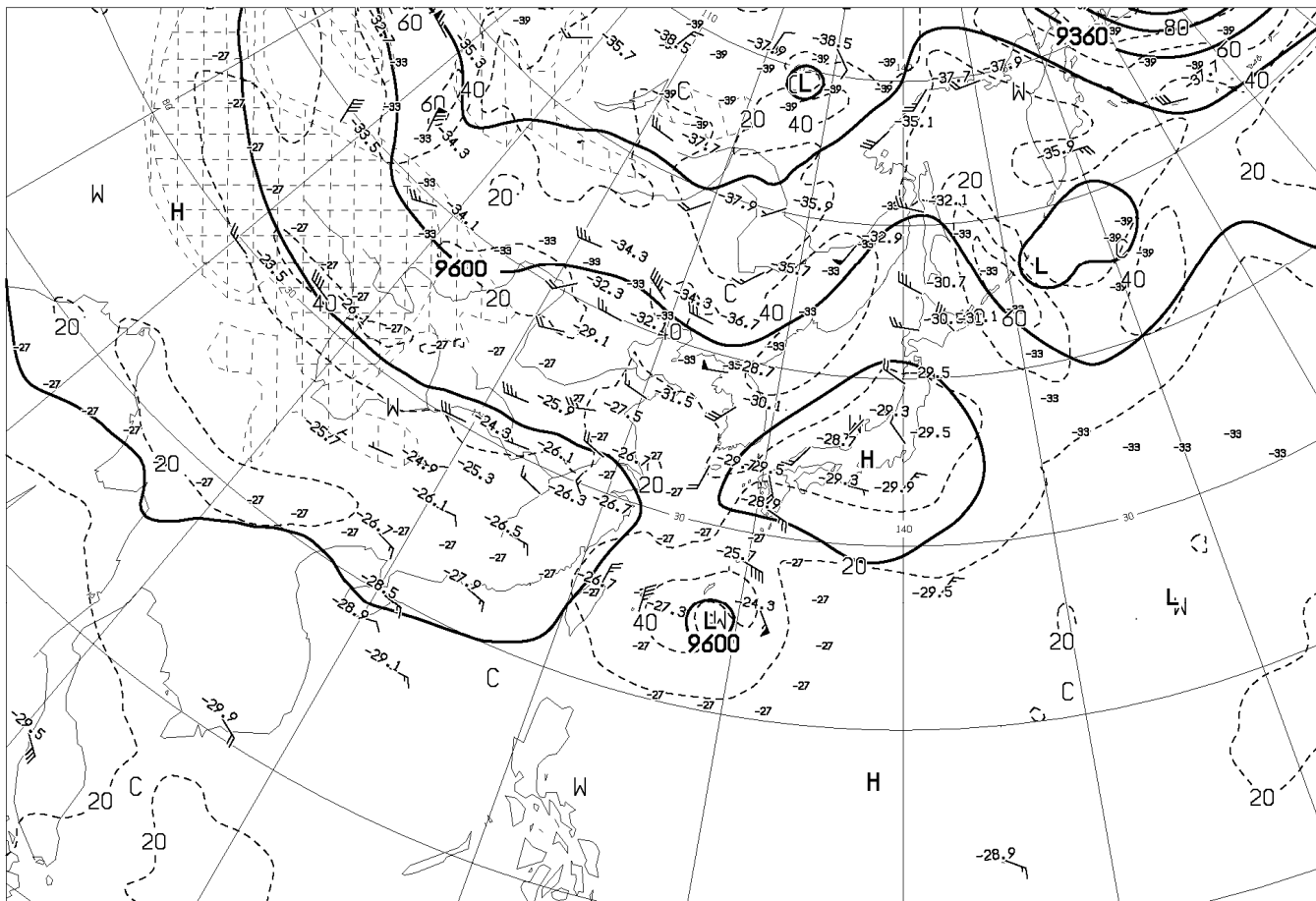




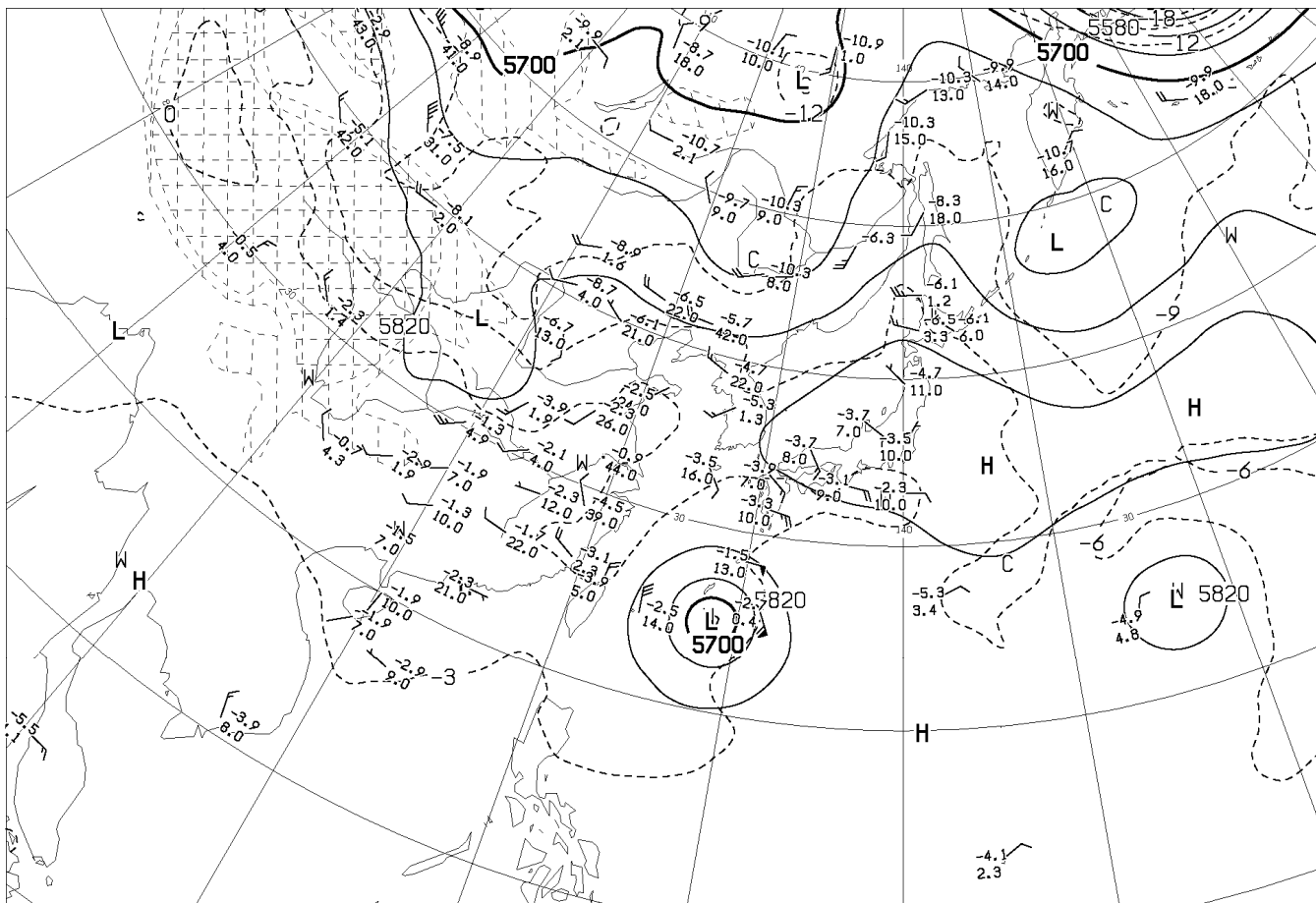
[AUPQ35] アジア 500hpa 300hpa 解析図

[AUPQ78] アジア 850hpa 700hpa 解析図

[AXFE578] 極東 850hpa 気温・風/700hpa 上昇流/500hpa 高度・渦度



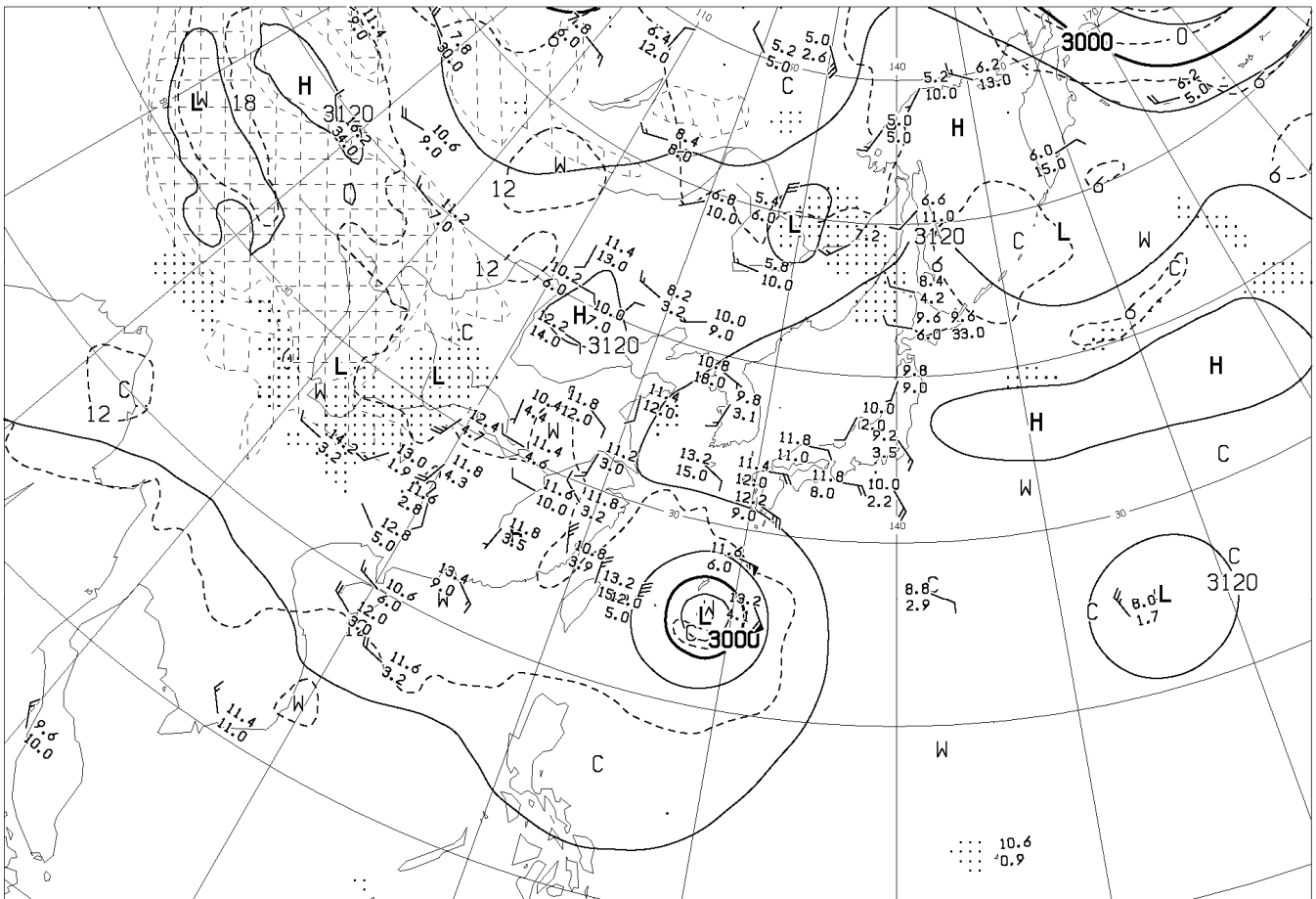
ANALYSIS 300hPa: HEIGHT(M), TEMP(°C), ISOTACH(KT)



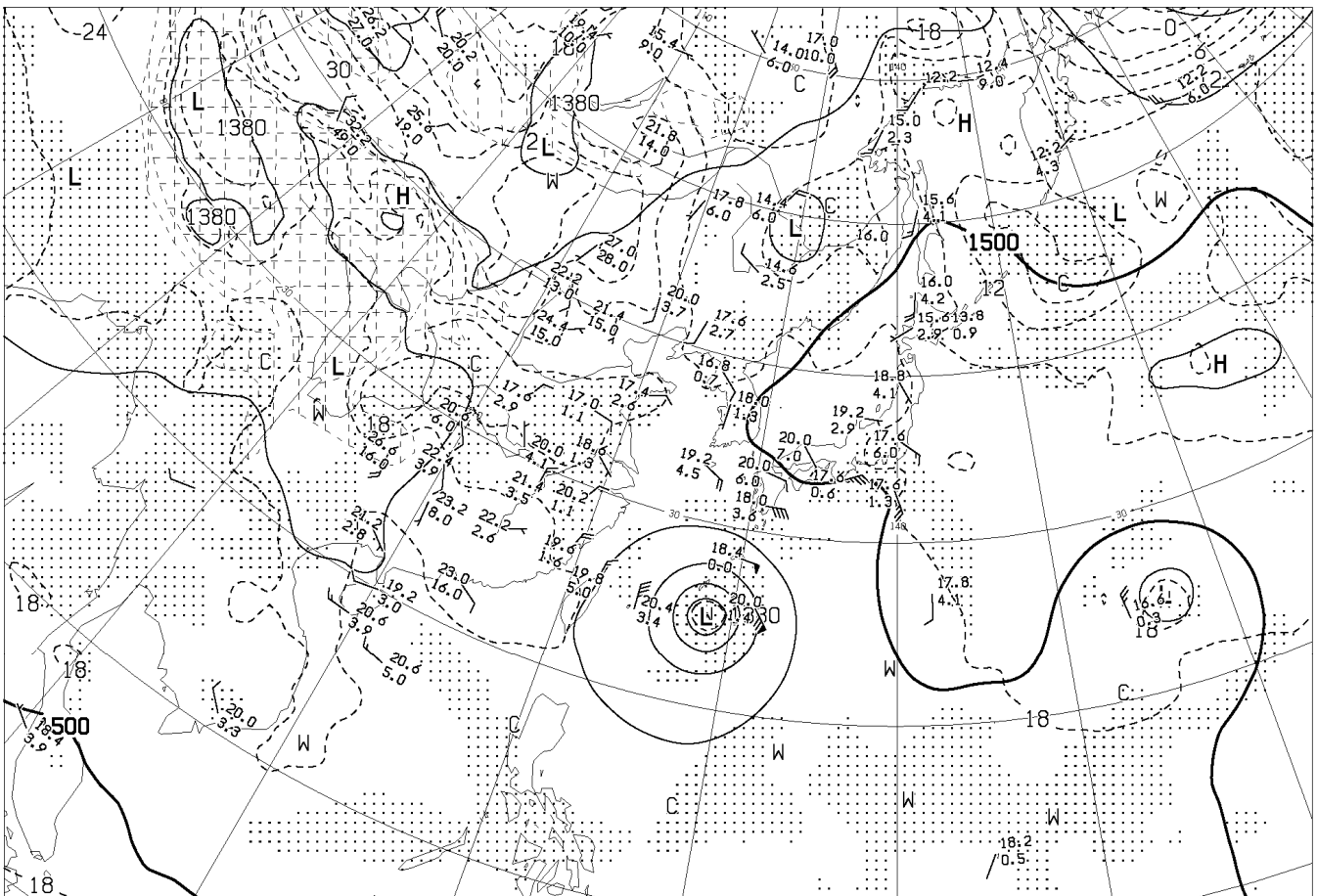
ANALYSIS 500hPa: HEIGHT(M), TEMP(°C)

AUPQ35 041200UTC AUG 2011

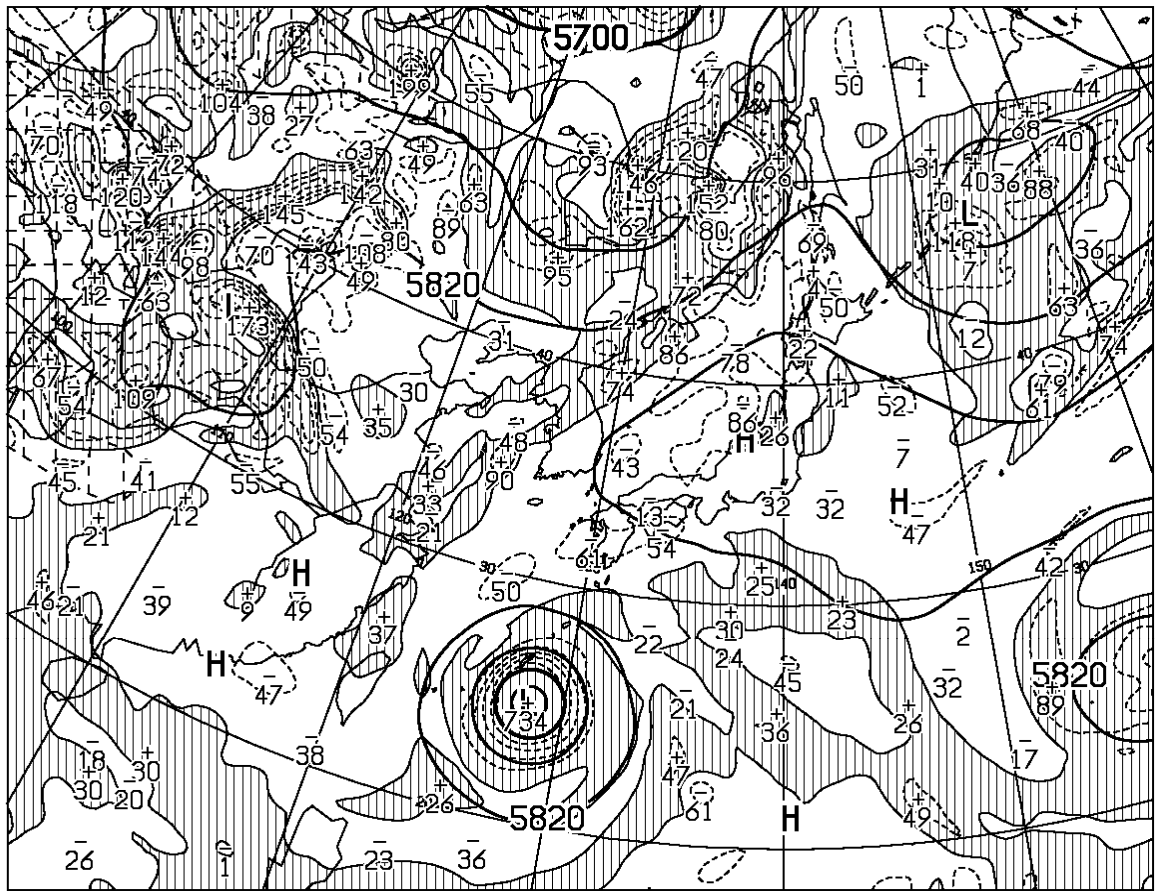
Japan Meteorological Agency



ANALYSIS 700hPa: HEIGHT(M), TEMP(°C), WET AREA::(T-TD<3°C)

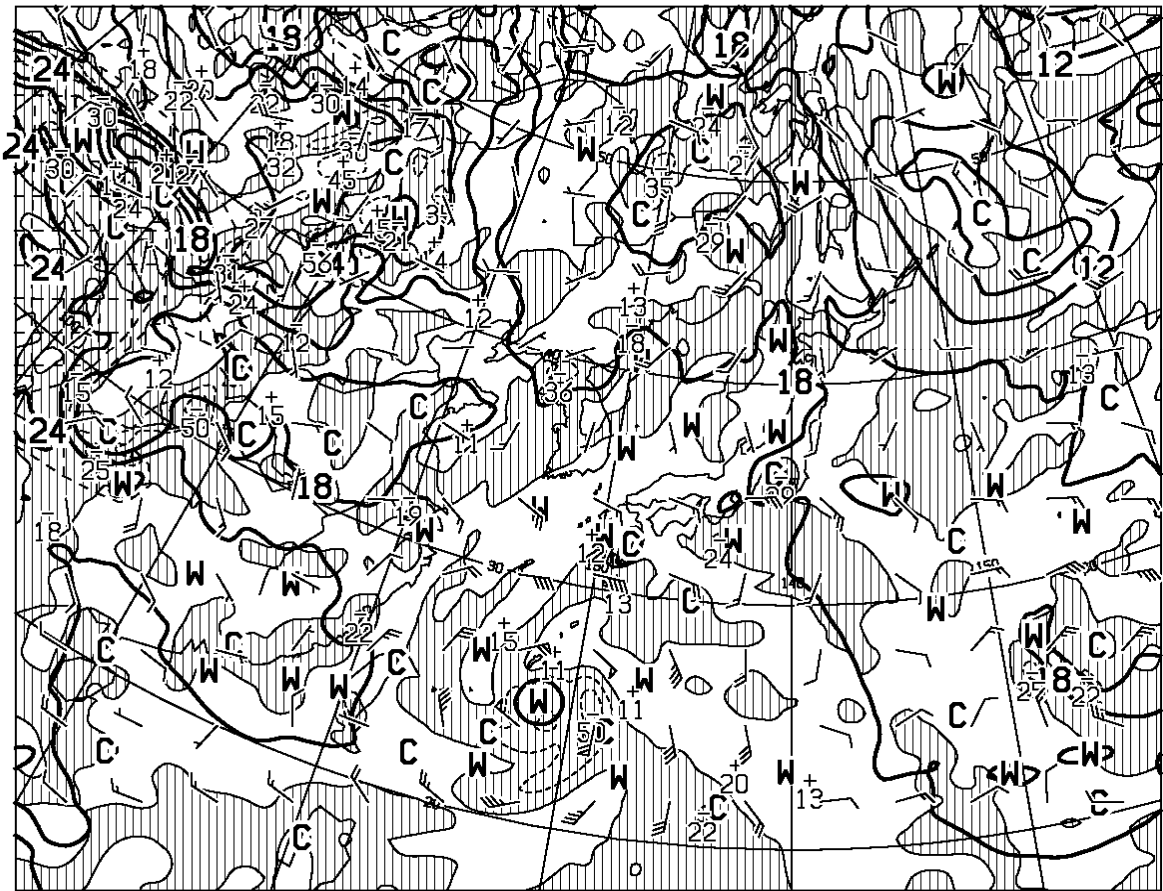


ANALYSIS 850hPa: HEIGHT(M), TEMP(°C), WET AREA::(T-TD<3°C)



T=00

HEIGHT (M), VORT (10**x-6/SEC) AT 500hPa



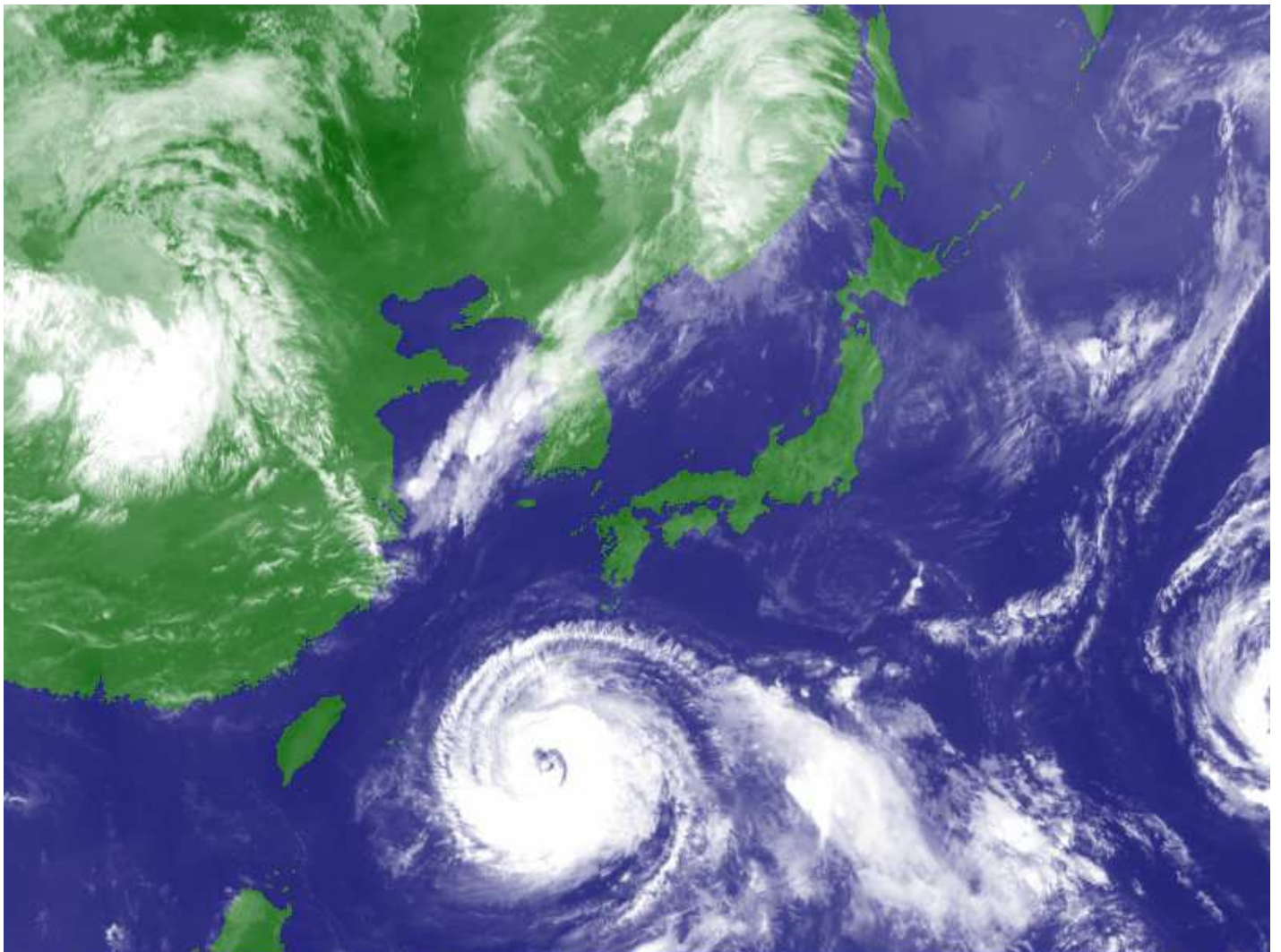
T=00

TEMP (C), WIND ARROW AT 850hPa
P-VEL (hPa/H) AT 700hPa

AXFE578

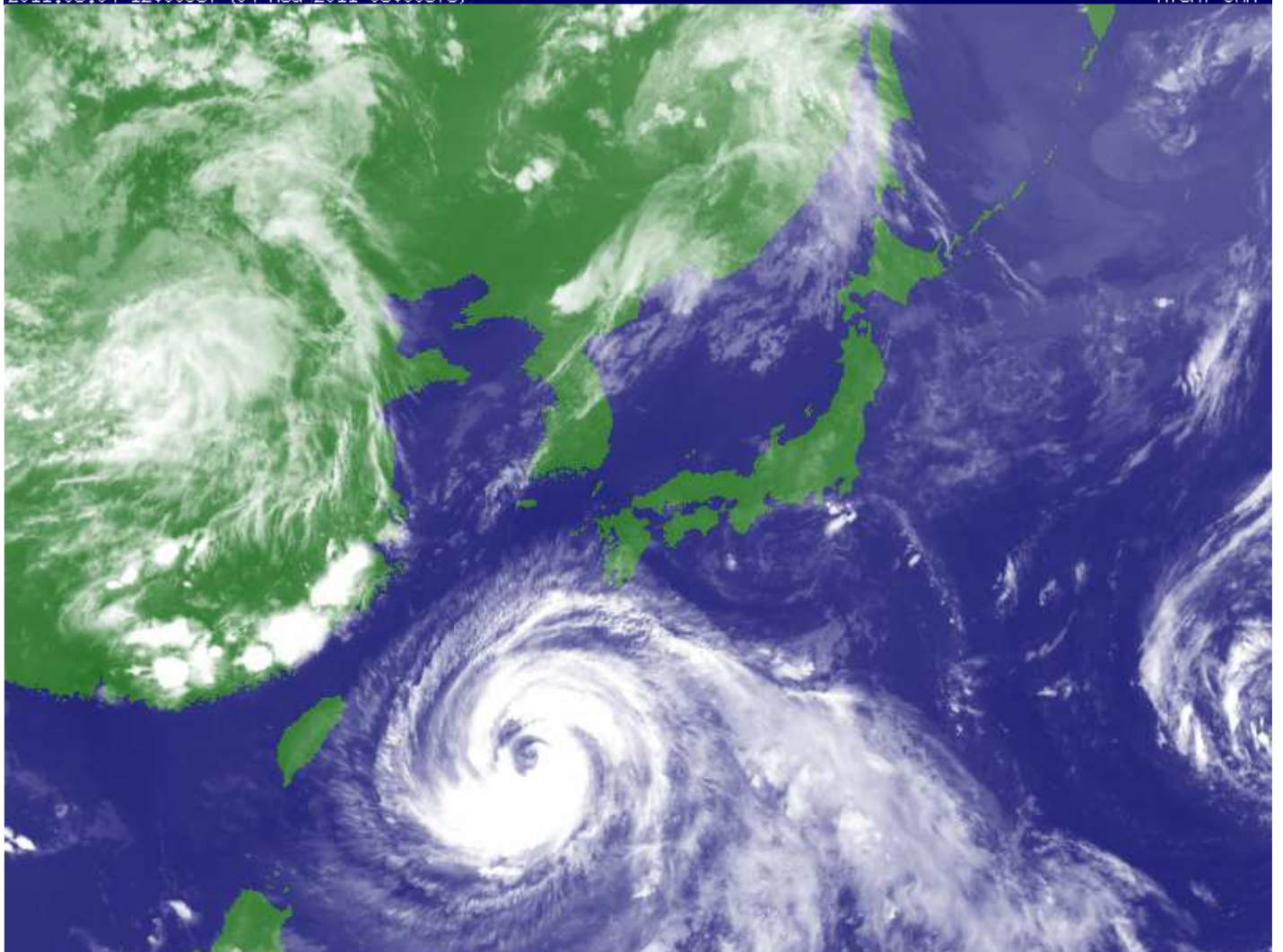
041200UTC AUG 2011

Japan Meteorological Agency



2011.08.04 12:00JST (04 AUG 2011 03:00UTC)

MTSAT JMA



2011.08.04 21:00JST (04 AUG 2011 12:00UTC)

MTSAT JMA

